



第23号 定価 20円 発行所 怒涛社 電話(983)33121

世界革命に向け党派大衆団体の変革をすすめよ

I. 七〇年十八の限界を克服せよ

(一) 十八の東史
 七〇年十八の東史は、世界革命の歴史の中で、最も重要な年である。この年、世界革命の限界は、七〇年十八の東史に達した。この限界を克服せよ、これが我々の使命である。

(二) 十八の東史
 七〇年十八の東史は、世界革命の歴史の中で、最も重要な年である。この年、世界革命の限界は、七〇年十八の東史に達した。この限界を克服せよ、これが我々の使命である。

II. 国際共同行動上の運動組織における一問題

(一) 在日アジア人民の政治的社会的要求と日本プロレタリアートの責任

在日アジア人民の政治的社会的要求は、日本プロレタリアートの責任を課している。我々は、この責任をしっかりと果たさなければならない。

(二) 組織における問題

組織における問題は、我々の共同行動の成功を決定する重要な要素である。我々は、この問題をしっかりと解決しなければならない。

III. 国主義経済主義との闘いをおすすめす

国主義経済主義との闘いをおすすめす。これは、世界革命の成功のための重要な課題である。我々は、この闘いをしっかりと進めなければならない。

沖繩問題にたいして本土・沖縄労働者階級のとるべき態度

一進む沖繩返還一休
 化策動と運動の危機

「怒涛」十一月より
 月一回刊化決定
 労共委編集局

プロレタリア世界革命の旗の下
 万国の労働者団結せよ
 労働者共産主義委員会

「怒涛」十一月より
 月一回刊化決定
 労共委編集局

はじめに
 去る十四日、八日、九日、十日の四日間にわたって、日本労働組合総連合会（以下、総連）の創立三十周年記念大会が、東京の日本武道館で開催された。この大会は、総連の歴史を振り返り、今後の活動方針を明らかにする重要な機会となった。

総連は、戦後民主主義の発展に貢献し、労働者の権利を擁護するに努めた。この三十年来の歩みは、決して平坦ではなかったが、常に労働者の利益を第一とし、社会正義の伸張を期して奮闘してきた。今後とも、労働者の声を代弁し、社会の発展に貢献する責務を自覚し、活動の中心を労働者に置き、労働者の利益を第一とする方針を堅持する。

〇〇〇闘争委員会の質問への回答、並びに同組織の10月8日独自集会（予定）に対する我々の態度

労働者共産主義委員会

二一七七年七、七 集會を如何に拒否

二一七七年七月七日、東京の日本武道館で開催された〇〇〇闘争委員会の集会は、我々労働者共産主義委員会としては、断然拒否する態度を示す。この集会は、労働者の利益を代表する組織として、労働者の権利を擁護し、社会正義の伸張を期するものである。しかし、この集会は、労働者の利益を第一とし、労働者の声を代弁し、社会の発展に貢献する責務を自覚し、活動の中心を労働者に置き、労働者の利益を第一とする方針を堅持する。

闘争は如何に獲得したのか

労働者の利益を第一とし、労働者の声を代弁し、社会の発展に貢献する責務を自覚し、活動の中心を労働者に置き、労働者の利益を第一とする方針を堅持する。労働者の権利を擁護し、社会正義の伸張を期する。労働者の利益を第一とし、労働者の声を代弁し、社会の発展に貢献する責務を自覚し、活動の中心を労働者に置き、労働者の利益を第一とする方針を堅持する。

労働者の利益を第一とし、労働者の声を代弁し、社会の発展に貢献する責務を自覚し、活動の中心を労働者に置き、労働者の利益を第一とする方針を堅持する。労働者の権利を擁護し、社会正義の伸張を期する。労働者の利益を第一とし、労働者の声を代弁し、社会の発展に貢献する責務を自覚し、活動の中心を労働者に置き、労働者の利益を第一とする方針を堅持する。

二、米軍政打倒・日帝打倒こそ労働者階級の任務

労働者階級の任務は、米軍政の打倒と日帝の打倒にあり、労働者の利益を第一とし、労働者の声を代弁し、社会の発展に貢献する責務を自覚し、活動の中心を労働者に置き、労働者の利益を第一とする方針を堅持する。労働者の権利を擁護し、社会正義の伸張を期する。労働者の利益を第一とし、労働者の声を代弁し、社会の発展に貢献する責務を自覚し、活動の中心を労働者に置き、労働者の利益を第一とする方針を堅持する。

三、返還・一体化策動に反対し政治闘争にたち上れ!

労働者の利益を第一とし、労働者の声を代弁し、社会の発展に貢献する責務を自覚し、活動の中心を労働者に置き、労働者の利益を第一とする方針を堅持する。労働者の権利を擁護し、社会正義の伸張を期する。労働者の利益を第一とし、労働者の声を代弁し、社会の発展に貢献する責務を自覚し、活動の中心を労働者に置き、労働者の利益を第一とする方針を堅持する。

四、民族主義経済主義的沖繩方針を粉碎せよ!

労働者の利益を第一とし、労働者の声を代弁し、社会の発展に貢献する責務を自覚し、活動の中心を労働者に置き、労働者の利益を第一とする方針を堅持する。労働者の権利を擁護し、社会正義の伸張を期する。労働者の利益を第一とし、労働者の声を代弁し、社会の発展に貢献する責務を自覚し、活動の中心を労働者に置き、労働者の利益を第一とする方針を堅持する。

労働者の利益を第一とし、労働者の声を代弁し、社会の発展に貢献する責務を自覚し、活動の中心を労働者に置き、労働者の利益を第一とする方針を堅持する。労働者の権利を擁護し、社会正義の伸張を期する。労働者の利益を第一とし、労働者の声を代弁し、社会の発展に貢献する責務を自覚し、活動の中心を労働者に置き、労働者の利益を第一とする方針を堅持する。